

第3回 札幌駅交通ターミナル検討会

議事概要

1. 日 時 令和 2 年 9 月 2 日 (水) 13時00分～15時00分
2. 場 所 北海道経済センタービル 8階 Bホール
3. 出席者 別紙のとおり
4. 議 事
 - (1) 挨拶
 - (2) 審議
 - ・ 「検討事項の確認」「札幌駅周辺の現状・将来動向と課題」「札幌駅周辺全体での機能検討の方向性」について、事務局より説明し、引き続き、事業計画の策定に向けて検討を進めることを確認。
 - ・ バスターミナルと創成川通との地上部での接続、バスターミナルの規模について事務局案を了承。

【 委員からの主な意見等 】

- (1) 札幌駅周辺全体での機能検討の方向性
 - ・ バス乗降機能を札幌駅交通ターミナルに集約するにあたっては、アクセスする経路に対する交通混雑を緩和するため、自動車交通に対して面的な検討が必要。
 - ・ 自転車や歩行者等との交錯も考慮し、駅周辺全体の交通モードの動線を踏まえ検討すべき。
 - ・ 歩行者動線については、新幹線改札が4階レベルとなり、人流の重心が高くなることが想定されるため、2階レベルで東西動線として周辺の再開発とも連携した面的な回遊性や創成川通上部空間の活用等についても検討すべき。
 - ・ 利用者目線の検討にあたっては、高齢者や障害者にも配慮すべき。
- (2) その他(今後の進め方、全般について等)
 - ・ 新たなモビリティの受容についても想定しておくべき。
 - ・ 交通系の購買・決済の観点から、ETCをはじめとした通信インフラの実装についても想定しておくことが重要。
 - ・ バスターミナルの規模については、再開発の建築上の制約がある中で配置検討がなされたものの、冬期の渋滞時や待機も含めて、将来供用

時の路線集約・運用について、バス事業者との意見交換の場などを活用して検討すべき。

- ・ 総合的な案内については、利用者目線でわかりやすいか等、開業段階で改めてチェックすることが必要。
- ・ 様々な機能の空間配置を行うにあたっては、限られた空間であることを踏まえ、バスターミナルの交通機能を阻害することがないように検討すべき。
- ・ 札幌駅周辺の再開発事業が進む中で、従来のエリアマネジメントにモビリティ面も加えて、全体をマネジメントする体制の検討が必要。

以上